



神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

2017-2018年度 第12週報 No. 1995 2017年(平成29年) 9月29日 第1995回 例会記録 10月6日発行

本日〈10月6日〉のプログラム

- ◆ 斉唱 「君が代」「奉仕の理想」「友達になろう」
- ◆ 献立 中華御膳
- ◆ 卓話 「第108回国際ロータリー年次大会2017
アトランタ大会参加の報告」
矢野 修二 会員

<< 本日のBGM >>
アルバム「ブレイン・フォー・チェンジ」より



PHOTO クラブ会報委員会

司会 金森 欣一 副幹事

ビジター紹介 横浜RC 山崎 考平 様

点鐘 矢野 修二 会長

誕生日祝 田口健太郎 会員 (9月29日)

斉唱 「それでこそロータリー」「友達になろう」
ソングリーダー：河野 明光 会員

四つのテスト 赤堀 和人 職業奉仕委員長
(第1例会のみ)

ゲスト紹介
陣 成姫 様 (ゲストスピーカー・米山奨学生)



2017-2018年度 RI会長 イアン H.S. ライズリー



ロータリー：
変化をもたらす

第2590地区 ガバナー 湯川 孝則

会 長	矢野 修二	会 計	白井 康夫
会長エレクト	天野 公史	副 会 計	飯田 泰之
副 会 長	田中 龍太郎	S A A	茂木 知子
副 会 長	河野 明光	副 S A A	加藤 仁昭
幹 事	白鳥 厚夫	副 S A A	森 永 健
副 幹 事	金森 欣一	クラブ会報	長井 章

例会日 毎週金曜日 0:30 ~ 1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)
例会場 ホテルキャメロットジャパン
URL <http://www.kanagawahigashi.com/>
E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

事務局 ホテルキャメロットジャパン内
〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
TEL: 045-314-3900 FAX: 045-314-3555
創立記念日 昭和51年5月29日

結婚記念日祝

加藤 仁昭 会員 (10月4日)



て頂きました。地域の奉仕活動の一環と致しまして、10月27日(金)10時～12時に相鉄ジョイナス前にて実施致します。ご協力をお願い致します。

スマイルボックス

茂木 知子 SAA

加藤仁昭君 結婚祝い、ありがとうございます。

矢野修二君 ①昨日お集まり頂いた皆様、ありがとうございます。②米山奨学生 陣成姫さん、本日の卓話、よろしくお願ひ致します。

山本 登君 朝・夕、秋めいて参りました。

山田正憲君 陣成姫さん、本日の卓話、よろしくお願ひします。

白鳥厚夫君 ①陣成姫さん、卓話楽しみにしています。②社会奉仕によるクラブフォーラムの出席、よろしくお願ひ致します。

茂木知子さん ～月山会員、大変です～「川柳がなかなか浮かばず、河野会員のプレッシャーが半端ない」と、私が嘆くと、月山会員は「私はすぐ出るよ。お風呂入っていても出てくるのだから」と言います。現在、月山会員の出てくるものは川柳でしょうか、将来は何が出てくるのかわかりません。

会長報告

矢野 修二 会長

- ・ R I 事務局より、澁谷高弘会員、田中龍太郎会員、白井康夫会員に、MPHFの認証ピンが届いておりますので贈呈します。



9月29日	6件	14,000円
本年度累計		469,388円

出席報告

澁谷 高弘 出席委員

会員総数	51名	(33+18)名	
出席会員数	42名	(28+14)名	
出席率	86.36%		
ゲスト	1名	ビジター	1名
前回補正後	86.36%	前々回補正後	87.23%

幹事報告

白鳥 厚夫 幹事

- ・ ロータリーレートが10月は変更になります。
\$ 1=109円 ⇒ 112円
- ・ 本日、地区大会特別企画“ロータリー子ども美術展参加作品のお願い”のチラシをボックスへ配布致しました。専用画用紙が事務局に届いておりますので、出品をされるお子様がいらっしゃる方は事務局まで申し出ください。
- ・ 本日、例会終了後に社会奉仕によるクラブフォーラムを開催致します。大勢の参加をよろしくお願ひ致します。
- ・ 次週10月6日は通常例会です。お間違えないようよろしくお願ひ致します。
- ・ 前年度の年次報告書の校正が出来上がりました。回覧致しますので関係箇所のご確認をお願い致します。

委員会報告

社会奉仕委員会 委員長 友添 辰哉

本日、皆様のボックスに“献血ご協力のご案内”を入れさせ

「米山奨学生について」

川崎マリーンロータリークラブ 米山奨学生 陣 成姫 様
(紹介者 田口健太郎 会員)



ロータリーニュース

R I 会長からのメッセージ

2017年7月

ロータリーに入会する理由は、ロータリアンの数だけあります。もしかしたら、もっと多いかもしれません。しかし私たちはそれぞれ、入会してから生活の中で何かが変わったとを感じるからこそ、ロータリーにとどまっているのでしょう。ロータリーを通じて私たちは、「変化をもたらして」います。ロータリーに積極的に参加すればするほど、私たち一人ひとりにも変化がもたらされます。ロータリーは私たちに、もっと良い人間となり、もっと意欲的に、高い目標に向かって努力し、毎日の生活に「超我の奉仕」を取り入れるよう、常に銘記させてくれます。

ロータリークラブやロータリアン一人ひとりが、奉仕を通じてどんな変化をもたらすかは、常に各自が決めることです。私たちはひとつの組織として、理事会が戦略計画の中で決定した3つの戦略的優先項目、すなわち「クラブのサポートと強化」「人道的奉仕の重点化と増加」「ロータリーの公共イメージと認知度の向上」を指針として行動します。

まずクラブのサポートについては、今後1年間にオンラインツールが大幅に改善されます。たとえば、Rotary.orgは一新され、ロータリー財団への補助金申請手続きがシンプルになり、My ROTARYの使い勝手がよくなり、ロータリークラブ・セントラルの構成が変わります。クラブの強化にあたって特に大きな課題は、会員の男女バランスと平均年齢の二つです。今後も強いクラブであり続けるには、地域社会を映し出すような会員構成とし、次世代のために知識豊富なリーダーを育成し続ける必要があります。

長年にわたり、私たちの奉仕活動すべての根幹に関わってきた問題があります。それは、持続可能性です。持続可能な奉仕とは、ロータリーによる直接参加が終わった後も、その活動が長期的に良い影響を与え続けることを意味します。たとえば、ただ井戸を掘っただけで立ち去るのではなく、村人たちが井戸の手入れと修繕をできるようにしなければなりません。病院を建てたなら、ロータリーからの支援がなくても経営を続けられる方法を、きちんと確立しなければなりません。ポリオについて言えば、私たちの活動が目指すのは、ウイルスの単なる抑止ではなく、「撲滅」です。ポリオ撲滅は、持続可能な奉仕の、いわば究極的なかたちです。その活動資金を支援することで、私たちは全世界の人びとに、長期的どころか永続的な恩恵をもたらすでしょう。この活動が完了するまでは、最優先としていかなければなりません。

112年にわたってロータリーは、計り知れないほど多くの人に多くの方法で変化をもたらしてきました。初代会長ポール・ハリスの掲げた小さなたいまつを、世代から世代へと引き継いで「変化をもたらす」ながら、今私たちはここにいるのです。

2017年8月

「ロータリーって何？」と聞かれたら、あなたはへと答えますか。単純に思える問いでも、どう答えていいか戸惑ってしまうことはないですか。いつも明確に話せる人でも、ロータリーを成す要素を一言で言い表すことは難しいのではないのでしょうか。

皆様、こんにちは。川崎マリーンロータリークラブの奨学生陳成姫（ジンソンヒ）と申します。本日、神奈川県東ロータリークラブの皆様の前で、お話する機会を頂くことができ、本当に嬉しく思っております。

今まで所属している世話クラブ以外で卓話するのは経験のないことでしたので、かなりプレッシャーを感じましたが、このような機会は人生でなかなかないことですし、このスピーチを通してロータリアンの皆様に感謝の気持ちを伝えたいと思ったので、本日、神奈川県東ロータリークラブの皆様の前でスピーチすることに決めました。

現在、ロータリー米山奨学生になってから、早くも1年が過ぎました。奨学金を頂くことによって私の生活には様々な変化がありました。一つ目はアルバイトする時間が3分の2に減り、今まで以上に勉強や研究に専念できるようになりました。学期中には1ヶ月120時間、夏休みと春休みには220時間以上働きましたが、奨学金を頂いてからはその半分にしても生活ができるようになりました。奨学金のおかげで節約できた時間には論文の準備や作成、学会に参加するなどして、より有意義な留学生活を送っています。

二つ目は新たな絆ができたことです。この一年間、川崎マリーンロータリークラブの皆様にご大変お世話になりました。昨年度、私の世話クラブでは、屋形船や鎌倉散策、川崎大師での護摩焚き、節分の豆まきなど今まで経験したことのない様々な日本の文化を味わうことができました。このようなこと以外にも生活で困ったことや学校の悩みまで相談できるので、私にとってはまた一つの家族が、心強い味方ができた一年でした。

3番目は新しいことにチャレンジをしています。奨学金をもらって少し余裕ができた私が考えたのは、人の役に立つ人間になりたいということでした。その時ちょうど米山校友会の様々な活動を見て興味を持ち、今年から校友会のサポーターとして活躍することになりました。特に今年度は現役奨学生でもあるので、奨学生と校友会を繋げ、より一層活発な活動を広げたいと思っています。

このように充実した毎日を送っていくことができるのも、ロータリー米山奨学会を支えてくださっているロータリアン皆さまのご支援のおかげだと思っております。本当に心から感謝しております。有難う御座います。これからもこのような素晴らしい機会を与えてくださった皆様への感謝の気持ちを忘れず、強い信念をもって日々精進していくつもりです。引き続き、ご指導のほど、よろしくお願い致します。



これまでロータリーは、その活動を理解してもらうのに困難を経験してきました。何をやるだけでなく、どうやって世界に貢献しているかを人びとに理解してもらうことに、いつも苦勞してきました。私は会計士なので、数字が大好きです。数字はどの言語にも通じます。そして言葉よりも効果的に複雑な情報を提供することができます。そこで、本ロータリー年度には、各クラブに2つの数字（人道的奉仕のために費やした現金・現物寄贈の金額、ロータリーの名のもとに行った活動時間数）をロータリー本部へ提出していただきたいのです。この数字を有益な形で使えるように、正確な数字を提出してください。ですから、クラブが奉仕に費やすお金と時間を今から正確に記録してください。

クラブがこの情報を年度末に提供できる一番簡単な方法は、ロータリークラブ・セントラルからデータを毎月入力することです。このツールは、今までよりずっと使いやすくなりました。もし、インターネットへのアクセスが限られているなどの理由で、クラブを通じてロータリークラブ・セントラルにデータを入力できない場合は、地区ガバナーに連絡し、他の手段で提出できるようにしてください。

この作業の目的は、けっして最高額、最長時間数を目指すものではないことを強調させていただきます。これは競争や表彰のためでなければ、特定クラブからご報告いただいた数字を公に示すことでもありません。目標は、正確な信頼性の高い数字を、自信をもって公共イメージ活動、新会員入会資料、そしてパートナーに示すことです。各クラブで報告いただく数字は、「ロータリーって何?」、「ロータリーって何をやるの?」といった質問への回答にも活用できるでしょう。

これらの数字で、ロータリーの価値をより多くの人に示すことができると強く信じています。この作業を土台として、より多くの人びとに、より多くの方法で、今まで以上に世界に変化をもたらすことができるでしょう。

2017年9月

ロータリー国際大会の最大の魅力は、参加者の多様性にあります。分科会でも、友愛の家でも、食事の席でも、ありとあらゆる民族衣装をまとった世界各地からの参加者が、それこそ世界中の言語で話している光景に出会います。これほど異なる人びとが、一緒にいても苦にならない、これが国際大会の楽しさであるのはもちろんのこと、この多様性こそ、ロータリーの偉大な大きな秘密でもあります。

この心温まる地域社会の精神はロータリーの核にあります。同時に、2018年ロータリー国際大会の開催地であるトロントを定義づけるものでもあります。トロントは私の大好きな街のひとつです。280万人の住民の半分は他国出身者で、140か国語以上の言語を話し、どれだけ忙しくても人助けはするという土地柄です。トロントはきれいで安全で人に温かいだけでなく、オンタリオ湖辺やおいしいレストラン、他では見られないような博物館、それに探索するのも楽しい見どころがたくさんあります。

2018年国際大会は、これまでで最高の大会になる兆しをすでに見せています。大会委員会とホスト組織委員会は、インスピレーションを高めるような講演や最高のエンターテインメント、ためになる分科会、そして街中でのさまざまな活動を計画しています。

トロントには誰もが何かしら楽しめるものがあります。ジュリエットと私は家族を引き連れてトロントに行く予定ですが、皆さまにもぜひご家族での旅行をお薦めします。トロントはロータリアンを魅了する見どころだらけとはいえ、もちろん最大の魅力は国際大会そのものです。ロータリー世界がどんなことをしているのか知り、これからの1年に向けてインスピレーションを得て、充電するための、年に1度の機会です。2018年トロント国際大会では、インスピレーションをいたるところで発見できます。

イアン H.S. ライズリー
2017-18年度会長

社会奉仕クラブフォーラム開催

テーマ「新たな地域への奉仕活動について」

9月29日（金）例会終了後、社会奉仕による第1回クラブフォーラムが開催されました。



我が街「神奈川」散策（第7回）

クラブ会報委員会

■神奈川の地名の由来（上無川）

「神奈川」は鎌倉時代の文書にも残る古い地名で、その由来については様々な言い伝えがあります。その一つとして、現在の神奈川小学校東側に、水量が少なく水源も定かでないため上無川（かみなしがわ）と呼ばれていた小川があり、その「かみなしがわ」が詰まって「かながわ」になったとされています。上無川は、関東大震災後の復興計画で埋め立てられました。

神奈川小学校の東側には、「東海道分間延絵図の神奈川宿の部分」や「上無川と神奈川の由来」のプレートが設けられています。

次回〈10月13日〉の予定

ガバナー公式訪問

国際ロータリー第2590地区 ガバナー 湯川 孝則 様